

区議会議員

# 吉田ゆみこ

## 区議会レポート

〒142-0043品川区豊町5-11-9中村荘101 TEL03-5751-7105/FAX03-5751-7106  
mail:shinagawa@seikatsusha.net URL:<https://shinagawa.seikatsusha.me>  
吉田ゆみこHP:<https://yoshidayumiko.seikatsusha.me>



### 吉田ゆみこプロフィール



会派「しながわ未来」、区民委員会・副委員長、災害・環境対策特別委員会、廃棄物減量等推進審議会委員、区民と議会の交流会議

吉田ゆみこHP



訪問介護基本報酬引き下げに  
怒りの声！

訪問介護の基本報酬が4月から2  
ヶ月引き下げられました。訪問介

**子ども・若者の未来を拓く品川へ**  
**高齢になつても障がいがあつても誰もが暮らしやすいまちへ**  
**現状把握を基礎とした子どもの育ち支援と、高齢化率20%を超えた品川区としての施策の充実が求められています。**

### 品川区の子育て世帯への お米応援プロジェクト

第2回定例議会では、当初予算に對していくつかの補正予算が可決。その一つが「子育て世帯へのお米応援プロジェクト」です。

夏休み期間中の子どもの食の支援が目的です。近年、夏休み明けにやせて登校する子が散見され、原因のひとつに「給食がない」ことが挙げられてきました。このプロジェクトはその現状への解決策の一環と理解できます。

所得制限は行わず電子申請した区内の「食の支援が必要な家庭」の小学生に一人当たり2kgのお米を配布。配布場所は児童センター、その際

に、子どもの状態を観察して声掛けをおこない、食だけでなく必要な支援につなげるのこと。

当初、配布数は5000人分、約10tを見込みましたが、8月5日の締め切りまでの申込者は11000人強となりました。担当部署では米の追加発注等の対応に追われており、全員配布は9月中旬までずれ込みます。

本補正予算については「所得制限はしないが、『食の支援が必要な家庭に向けた政策』であることを充分説明し理解していただく」という説明でした。しかし、結果からは、政策の意図が充分伝わったのか疑問も残ります。また、当初の目的の、受け取りに来た子どもたちと「必要な支援につなげる」ためのコミュニケーションは充分とれたのでしょうか?しつかりとした検証が必要です。



お米応援プロジェクトでは、児童センターの窓口で米が直接手渡された。申し込みは電子申請だったが、その手段に繋がらない人へのフォローなど充分であったのか、周知の方法として、学校からの通知文に一部転載するなどの工夫はできなかったのか。急を要した施策であっても、次年度に向けてPlan・Do・See・Checkは欠かせない。2024年7月26日、会派で大原児童センターと館内1階に併設のインクルーシブひろば「BELL(ベル)」を視察

護の人材不足は国も自治体も共通認識のはず。現場事業者は落胆と怒りをもつて受け止めました。  
高齢者住宅や福祉施設、訪問介護事業を一体運営する大手事業者は、ヘルパーの効率的な訪問を可能にし、訪問介護事業の利益を出せますが、地域の「訪問介護事業所」は苦境に陥っています。厚労省データでも、事業所の4割が赤字、2023年の訪問介護事業所の倒産件数は427件と過去最多です。「訪問介護事業所」の存在は在宅介護をする人たちの命綱です。この事態に、今定例議会には「国に対してもう少し理解してもらいたい」との撤回を求める意見書の提出を求められた。吉田ゆみこは、最終本会議で本請願への「賛成討論」に賛成しました。